

グループホーム【かがやきホーム新湯野】

1, 調査報告概要表

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】 作成日 平成20年5月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3474400375
法人名	有限会社 かがやき
事業所名	かがやきホーム新湯野
所在地	広島県福山市神辺町大字新湯野19番地1 (電話) 084-963-6555
評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと
所在地	福山市三吉町南一丁目11-31-201
訪問調査日	平成 20 年 4 月 26 日

純和風の贅沢なつくりの平屋建てとなっていて、木の香り、ぬくもりが感じられ落ち着いた雰囲気である。又住宅地ではあるが、利便性、環境共に恵まれた位置にある。理念に基づいた、人権の保護、安心して家庭的な生活ができるように、そして、奉仕活動を通し生きがいの持てる支援に心がけるよう、運営者、ホーム長、管理者、職員が思いを共有し日々取り組まれている。音楽療法やゲーム等、ユニークな取り組みが話題となり、他の事業所から見学に来られる事もある。又運営推進会議が大変有効に運営に反映されていて地域との連携が密になり協力体制ができている。、まさに地域に溶け込んだ事業所となっている。

【情報提供票より】(20年 4月 9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 1月 12日
ユニット数	2ユニット 利用定員数計 18人
職員数	20人 常勤 11人 非常勤 8人 常勤換算 9,2人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての 1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48000円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (八百円以上)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200円	昼食 300円
	夕食	300円	おやつ 2回 200円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(4月 9日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	4名	要介護2	5名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	5名		
年齢	平均 82歳	最低	62歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	福山市民病院付属神辺診療所・亀川病院・夏目さとう歯科医院
---------	------------------------------

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年の外部評価の改善点については、真摯に受け止められすべて改善されていた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義は全職員理解、評価をする事により、日々のケアサービスを再認識し、気づきの部分については話し合い取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回開催し、地域の代表者、利用者、家族、民生委員、包括支援センター、行政など多くの参加のもと、日々の取組状況を報告し、それぞれの立場の方の意見をサービスの質の向上に繋げている。運営推進会議を行う事で、地域、行政、利用者家族との関わりが深くなった。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	1ヶ月に1回かがやきホーム便りや金銭管理の報告を送付する際、状況報告をし、家族に安心感を与える工夫をしている。又家族会を3ヶ月に1回開催し、意見や苦情、要望等が出易い雰囲気作りに努め、意見や要望については、職員で話し合い、ケアサービスに活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、地域活動にも参加している。又、老人会との交流も図られ、地域の方達から季節の野菜などが届いたり、事業所の行事に参加してもらったり、地域との関係を深めるように努めると共に、気持ちよい挨拶、声かけにも日々取り組んでいる。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の基本的人権の保護、安心して暮らせる支援、又奉仕活動を通じ生きがいを持てる喜びなど、独自の理念が作成されている。		地域の一員として、その人らしく暮らせる様、地域と繋がった具体的な理念を加えられ、地域に根付いた事業所となるよう期待したい。
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、利用者と一緒に復唱し確認し合って実践に繋げている。又職員一人ひとり、目標を掲げ達成に向けケアの質の向上に取り組んでいる。目標の横に職員の写真と共に掲示されている。		
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域活動に利用者と共に参加している。老人会との交流も図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員、評価の意義を理解され、自己評価も職員の意見を聞きながら作成されている。外部評価の結果については、運営委員会、カンファレンスで伝え、改善に向けた取り組みをしている。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、地域、行政、利用者、家族、民生委員などの参加のもと、日々の取組状況、外部評価の結果などを提示し、それぞれの立場の方々の意見をサービスの質の向上に活かすよう取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センター、社会福祉協議会などに、事業所の問題点等について相談しアドバイスを貰い、ケアに活かしている。市町村とも連絡を密にし意見などをサービスの向上に役立てている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	1ヶ月に1回ホーム便りや金銭管理の報告を送付する際、健康状態や暮らしぶりなどについて報告している。又訪問時にも近況報告をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に意見や要望などが出やすい雰囲気づくりに努めている。家族会も3ヶ月に1回開催し、苦情などを聴取するよう取り組んでいる。意見などについては、ミーティングの中で話し合い運営に反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット異動も必要最少減に抑えている。やもう得ず、離職する場合は、利用者とのコミュニケーションを十分とるように心がけている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は順番に参加し、内容についてはレポートを作成し、ミーティングの中で周知している。内部研修は医療面の研修会をしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は同業者との交流がある。当事業所は、リクレーションに特色があるため見学に来られる。今後は相互訪問を通しケアの向上に取り組みたい。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
	12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		<p>利用者と家族で見学してもらい、状況を把握され納得してもらい徐々に馴染めるよう家族と相談しながら工夫している。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
	13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		<p>食事の準備、野菜作りなど、出来る事は一緒に行い、其の人の生活歴を聞く中で教わる事が多く、共に支え合っている。</p>
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
	14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		<p>一人ひとりの生活歴を大切にし、会話の中から希望や意向の把握に努めている。意思表示の困難な利用者に対しては家族に相談しながら本人本位に検討している。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
	15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		<p>職員と家族の意見を聞きながら管理者が作成している。月1回の家族会の中でも話し合いをしている。</p>
	16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		<p>3ヶ月に1回見直しをしている。家族にも納得してもらい、サインを得ている。又計画書を2部作成し、1部は家族に手渡す仕組みとなっている。又状態変化が生じた場合は、家族や職員、医師などと話し合い、現状に即した計画を作成している。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の要望に応じかかりつけ医への受診に同行したり、外泊の送迎なども家族の状況により柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望に沿って、かかりつけ医や協力医療機関への受診などは、運営者、看護師で支援をしている。又、リハビリの受診については、職員、家族で対応している。定期受診は2週間に1回となっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	受け入れ体制はある。医師が協力的で、ケアに対する指針を作成している。		医師、看護師、職員、家族と繰り返し話し合い、終末期のあり方についての方針を共有される様期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりを尊重し、プライドを傷つけないように優しく対応されている。個人情報保護は徹底されている。退職後の指導もしっかりと行っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	会話の中で、希望を汲み取ってあげるよう努力し、その人の希望に沿うよう支援している。又思いを伝えられない利用者に対しては、表情等で把握し支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりに合わせた食事で、優しく介助もされている。食事の準備や片付けの出来る方には手伝ってもらい、その人の力を発揮してもらえよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望の時間帯に沿うよう取り組んでいる。入浴拒否の利用者には、いろんな工夫をされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々をすごせるように一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個々の自由を尊重し、好みに合わせ、カラオケや読書など楽しく暮らせるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブ、買い物、散歩など、戸外に出る機会を多く持つよう取り組まれている。ドライブには、週何回も出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけていない。外出傾向のある利用者には、落ち着くまで職員が寄り添い対応している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非難訓練や火災訓練はしている。又ミーティングの中でも話し合っている。近所の人や、民生委員の方にも緊急時の避難などのお願いもしている。		近所の方々に緊急時のお願いなどもされているが、運営推進会議の中で問題を提示され、消防署の火災訓練などに、地域の人達にも呼びかけてもらい、共に取り組まれる事が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
		栄養摂取や水分確保の支援			
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに配慮し、一人ひとりの状態にあった工夫をされている。又水分摂取量は、1300CCを目標に確保できるよう工夫し支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下には天窓があり、自然な光が入り明るく、リビングには季節の花が飾られ穏やかで居心地の良い共有空間となつている。又、24時間換気がされているので嫌な臭いも無い。		
		居心地よく過ごせる居室の配慮			
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの物や思い出のある品々、テレビなども持ち込まれ、使い易く配置し居心地よく過ごされている。清掃も行き届いていた。		

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム かがやきホーム新湯野(木ユニット)

評価年月日 2008年 4月 26日

記入年月日 2008年 4月 6日

記入者 ホーム長 氏名 安原 富紀枝

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↓ 取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	基本的人権が保護され、家庭的な雰囲気の中で安心して生活ができるよう、日々ケアに当たっている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
	毎朝出勤者が揃った時、理念を読み、入居者の生活を皆で支えることを確認し合っている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
	玄関のホールに理念を掲げ、面会時にはお話をし、理解して頂いている。		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	散歩や洗濯、布団干しの時、近所の人と挨拶をしたり、自家栽培を持参して下さる等、近所付き合いをしている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
	老人会等の行事便りを毎月持参して下さるので、出来るだけ参加している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	毎月の支援の中で、役立つ事があればアドバイスさせていただいている。「子供110番」の家として貢献している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	実施する事で、ケアサービスの意義を再確認し、改善すべきところは積極的に取り組んでいる。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の取り組み状況を取り上げ、話し合った内容、意見をサービスに活かしている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターや社会福祉協議会に困難な事例を相談し、アドバイスを受け、ケアに活かしている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度を利用されている利用者が居られ、折々に学ぶ機会を設けている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待をしない、させないを目標とし、スタッフ同士自覚し合っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時、重要事項説明書や契約書の内容や、不安、疑問点がないかを尋ね、納得して頂ける様説明し、随時確認を取り合っている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情箱を設置している共に、毎月のだよりにも記載し、傾聴に努めている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に報告したり、月初めに写真入りのたよりを送付し、健康状態や暮らしぶりを報告している。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に公的な相談窓口を記載しているし、玄関にも苦情箱を設置している。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>意見箱を設置している。 時間を十分に取って話し合いの場を設けている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の勤務希望を重視した勤務表を作り、勤務調整に努めている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者の不安を防ぐ為にも出来るだけ異動しない様にしている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には随時参加させ、日々のケアに活かす様にしている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は同業者との交流はあるが、職員間では出来ていない。	○	運営者に同業者との交流が出来るよう御願います。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	必要に応じて一人ひとりと話す場を持っている。職員同士でも話せる環境づくりに努めている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己目標を決めて取り組んでいる。全員の自己評価を掲示し、各自が向上心を持って働ける様努めている。		
・ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前にはホームを見学して頂き、時間をかけて現在の生活状態を尋ねた、ホームでの生活をお話している。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の不安や希望されている事を時間をかけてじっくりと聞ける様配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホーム利用を希望されているご家族は家庭での介護に限界を感じています。家族と利用者の希望をお聞きし、希望に沿ったサービスを提供する様に努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家ででの生活の様子を聞き、家でされていた様にして頂いています。また納得してホームを利用されている人は安心した生活を送って居られます。		
また				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	台所片付け、洗濯星、たたみ等一緒に行い、昔の思い出話や談話等を通していろいろ教わることがあります。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	いつでも気軽に逢いに来て頂ける様に、また悩みや要望が出せる様な雰囲気作り心がけています。ホームの行事、お誕生日等にも参加して頂き、一緒に会食やレクリエーションをする機会を多く作っている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時間を決めないで、いつでも面会が出来、行事等にも気軽に参加して頂けるよう案内している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族に方が気楽に来て頂ける様な声掛けをしている。また大切な物や仏壇、お位牌等持って来て頂いている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションやゲームを通して、お互いが助け合っていける様に支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	病状悪化に伴い入院や家に帰られ退所されても、面会や訪問したりと随時連絡を取り合っている。亡くなられても案内があり、通夜や葬儀の案内を頂くので参列させて頂いている。その後も家族から挨拶に来て下さり有り難く思っています。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人広地の生活歴を知り、希望以降の把握に努めています。意思表示の困難な場合は、家族の方にお尋ねしています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴、趣味等を本人や家族にお聞きして把握に努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝バイタルチェックをし、体力にあった生活ができる様に一人ひとりの活動量を把握するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の方に希望を聞いている。またスタッフの意見を聞いて、日々の生活が活かせる介護計画を作成している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月ごとに見直しを行っている。利用者に心身の変化が見られた時は其の都度家族やスタッフ等と話し合い見直している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別記録を行っている。記録や気づき等の情報を収集して介護計画の見直しを行っている。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	行事等での外出、外泊には家族の要望で送迎をしたりと家族や利用者の意見を聞きながら支援している。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	時期折々の行事には地域の保育所から声を掛けて頂き交流している。毎月老人会からも行事便りを頂き、民生委員とも密に交流をしている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	紹介して下さった居宅支援センターや地域連携室、他の施設等と連絡を取り合っている。	○	本人、家族の意向や必要性がない為他のサービスを利用していない。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性に応じて地域包括支援センターと密にしている。2ヶ月に一回のかがやき会にも参加して頂き指導を仰いでいる。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族から今までのかかりつけ医を聞き、ホームとの協力病院を希望される場合は紹介状を書いて頂き、転移出来るよう支援している。ご家族の希望に沿って代表と看護師で受診の支援をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じ主治医に他の専門医に紹介して頂き、受診を受ける様支援している。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員が日常の健康管理支援を行っている。また必要な事は指示の下健康には気を配っている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時には度々面会に行き、家族にも主治医に容態を聞いて頂き、状態の把握、情報収集、家族との連絡を密にし、早期に退院出来る様努めている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の方やかかりつけ医と相談しながら、本人にとって一番よいと思われる方法を話し合いで決めている。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々の症状を家族にお話しながら、かかりつけ医の支持の下、ホームで出来る事と出来ない事の見極めを家族にも知って頂き、常に連絡を密にし本人に不安を与えないような支援をしている。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人に状況をお話し、別の居所に移られても、ホームとの情報交換や度々の面会や訪問をしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1．その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーやプライドを損ねるような言葉使いには気をつけている。個人を尊重した対応を心がけている。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>思いや希望を我慢しないで何でも話し合える雰囲気作りを心がけている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大事にし、レクリエーションもいろんな選択ができる様にしている。</p>	
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>理容院や美容院を希望する人は送迎を行い、希望しない人はホーム長が定期的に散髪している。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>季節の食材を使用し、好みをメニューに取り入れ、盛り付けや味付け、食器洗い等を一緒に行っている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>好きな物が飲めるよう何種類か用意し、おやつも好みの物を聞き、スタッフは利用者の嚙下状態や体調を見ながら一緒に楽しんでいる。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各居室にトイレがあるので、排泄は各自のトイレに誘導する事を基本としている。一人ひとりの排泄チェック表を基に時間を決めて誘導している。また水分補給にも気を配っている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回入浴して頂いているが、自立で一人で入浴が出来る人が少なく、見守り、一部介助、全介助が必要な為、一人ひとりの希望に沿った入浴が出来ていない。体力のない人は週2回の入浴にしている。	○	毎日入浴している人もいるが、希望の時間に自由に入浴してもらう事は出来ていない。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その人の状況により、寝不足気味や体力不足が感じられたら、休息して頂く様声掛けしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌の好きな人にはカラオケが出来る機会を作ったり、本の好きな人には週刊誌等を見て頂いたり、家事を行うのが好きな人にはお手伝いをして頂き、楽しく気晴らしが出来るように支援している。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持っている人もいますが、ほとんどの人が管理することが難しい。買い物に出かけた時に支払いをお願いしているが理解できていないようです。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週に何回となくドライブに行ったり、暖かい日には外周散歩、買い物に出かけている。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者全員で遊園地、景勝地、ログハウス利用など家族の計らいで出かけている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に電話がしたい時はいつでも使用して頂いている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は決めておらず、いつでも気軽に訪問や外出出来るようにしている。訪問時には一緒に食事やおやつを食べたり、レクリエーションをして楽しんで頂いている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフは身体拘束の苦痛を理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関に鍵を掛けていない。	○	他の居室に入り、手当たりしだい持ち運ばれる利用者が居られるので、紛失物が多く利用者の物取られ症状が酷くなっているため、必要に応じ鍵をしている。徘徊の利用者が落ち着けるよう、しっかりと向き合っていきたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はほとんどの利用者がリビングで過ごされているし、職員も一緒に過ごしている。夜は2時間おきの見回りの他、必要に応じて見回りをし、わずかな物音にも配慮している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物は、目に触れない棚や収納箱等に入れて危険を防いでいる。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	機会あるごとに実践研修を行い、一人ひとりの状態を把握しながら取り組んでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師の指導の下、定期的に訓練を行っている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練をしている。近所の方や民生委員に緊急時の避難などの協力をお願いしている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族等にいつも身体、体力状態を知って頂いており、本人に良い方法を一緒に考えて頂きリスクを共有している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックをし、毎日の健康状態を把握している。また入浴時にもチェックをし、異常がある時には入浴を止め、変化を記録しながら状態を見極め早めに受診している。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録に処方箋をつけている。服薬時にスタッフが一人ひとりに名前を確認して貰い服用して頂いている。薬が変わった時には連絡帳に書き、特に症状の変化に気をつけるようにしている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表をつけている。歩行をして頂いたり、食事には野菜やきのこ類、海藻類等を取り入れ、水分補給にも気をつけている。排便が無い時には便秘薬を服用して排泄を促している。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取チェック表をつけ、一人ひとりの状態に合わせて食べる量や食材に気をつけ一日の摂取量を把握している。水分量も一日1300mlの摂取量を目標に支援している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防の研修会に参加したり、スタッフ共に予防接種をして対応している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、食器等は乾燥機を使用し、毎日まな板や布巾も消毒している。冷蔵庫は週一回掃除をし、食材の期限切れ等を確認をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 土 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに季節事の花を植え、玄関ホールには手作り作品を置いてホットな雰囲気作りをしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	吹き抜けの天井に天窗があり、廊下や居室にはガラス瓦を使って自然の光が入ってくる。リビングには色とりどりの観葉植物や花があり、心を和ませている。玄関にスロープと手すりをつけ車椅子の出入りにも配慮している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づ くり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ウッドデッキにベンチや椅子を置き、日光浴や歩行が出来る。居間には掘りごたつがあり思い思いの場所で過ごされている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの物や思い出の品、テレビ等を持参され、居心地よく過ごされている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	建物が木造土壁で出来ているのと各居室とトイレには24時間換気システムが作動しているので気になる臭いはしない。エヤコンの温度調節もこまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、共有トイレ、居室、居室トイレすべてに手すりをつけている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	押し付けでなく、一人ひとりのわかる力を引き出せる場面を作っている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ウッドデッキにベンチや椅子を置き、日光浴や歩行が出来る。駐車場はフェンスがありボール遊びをしている。		

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一人ひとりの自尊心やプライドを傷つけないようにし、触れ合いを大切にし、不安なく笑顔が出るようなケアを心掛け、時間を決めて居室トイレでの排泄を促し、いつでも清潔で快適に過ごして頂ける様心掛けている。

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム かがやきホーム新湯野(花ユニット)

評価年月日 2008年 4月 26日

記入年月日 2008年 4月 6日

記入者 介護支援専門員 氏名 高橋 富子

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>毎月の支援の中で、役立つ事があればアドバイスさせていただいている。「子供110番」の家として貢献している。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>実施する事で、ケアサービスの意義を再確認し、改善すべきところは積極的に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>日々の取り組み状況を取り上げ、話し合った内容、意見をサービスに活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターや社会福祉協議会に困難な事例を相談し、アドバイスを受け、ケアに活かしている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護事業や成年後見制度を利用されている利用者が居られ、折々に学ぶ機会を設けている。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待をしない、させないを目標とし、スタッフ同士自覚し合っている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時、重要事項説明書や契約書の内容や、不安、疑問点がないかを尋ね、納得して頂ける様説明し、随時確認を取り合っている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情箱を設置している共に、毎月のだよりにも記載し、傾聴に努めている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に報告したり、月初めに写真入りのたよりを送付し、健康状態や暮らしぶりを報告している。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に公的な相談窓口を記載しているし、玄関にも苦情箱を設置している。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>意見箱を設置している。 時間を十分に取って話し合いの場を設けている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の勤務希望を重視した勤務表を作り、勤務調整に努めている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者の不安を防ぐ為にも出来るだけ異動しない様にしている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には随時参加させ、日々のケアに活かす様にしている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は同業者との交流はあるが、職員間では出来ていない。	○	運営者に同業者との交流が出来るよう御願います。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	必要に応じて一人ひとりと話す場を持っている。職員同士でも話せる環境づくりに努めている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己目標を決めて取り組んでいる。全員の自己評価を掲示し、各自が向上心を持って働ける様努めている。		
・ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前にはホームを見学して頂き、時間をかけて現在の生活状態を尋ねた、ホームでの生活をお話している。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の不安や希望されている事を時間をかけてじっくりと聞ける様配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホーム利用を希望されているご家族は家庭での介護に限界を感じています。家族と利用者の希望をお聞きし、希望に沿ったサービスを提供する様に努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家での生活の様子を聞き、家でされていた様にして頂いています。また納得してホームを利用されている人は安心した生活を送って居られます。		
また				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	台所片付け、洗濯星、たたみ等一緒に行い、昔の思い出話や談話等を通していろいろ教わることがあります。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	いつでも気軽に逢いに来て頂ける様に、また悩みや要望が出せる様な雰囲気作りに心がけています。ホームの行事、お誕生日等にも参加して頂き、一緒に会食やレクリエーションをする機会を多く作っている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時間を決めないで、いつでも面会が出来、行事等にも気軽に参加して頂けるよう案内している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族に方が気楽に来て頂ける様な声掛けをしている。また大切な物や仏壇、お位牌等持って来て頂いている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションやゲームを通して、お互いが助け合っていける様に支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	病状悪化に伴い入院や家に帰られ退所されても、面会や訪問したりと随時連絡を取り合っている。亡くなられても案内があり、通夜や葬儀の案内を頂くので参列させて頂いている。その後も家族から挨拶に来て下さり有り難く思っています。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人広地の生活歴を知り、希望以降の把握に努めています。意思表示の困難な場合は、家族の方にお尋ねしています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴、趣味等を本人や家族にお聞きして把握に努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝バイタルチェックをし、体力にあった生活ができる様に一人ひとりの活動量を把握するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の方に希望を聞いている。またスタッフの意見を聞いて、日々の生活が活かせる介護計画を作成している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月ごとに見直しを行っている。利用者に心身の変化が見られた時は其の都度家族やスタッフ等と話し合い見直している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別記録を行っている。記録や気づき等の情報を収集して介護計画の見直しを行っている。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	行事等での外出、外泊には家族の要望で送迎をしたりと家族や利用者の意見を聞きながら支援している。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	時期折々の行事には地域の保育所から声を掛けて頂き交流している。毎月老人会からも行事便りを頂き、民生委員とも密に交流をしている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	紹介して下さった居宅支援センターや地域連携室、他の施設等と連絡を取り合っている。	○	本人、家族の意向や必要性がない為他のサービスを利用していない。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性に応じて地域包括支援センターと密にしている。2ヶ月に一回のかがやき会にも参加して頂き指導を仰いでいる。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族から今までのかかりつけ医を聞き、ホームとの協力病院を希望される場合は紹介状を書いて頂き、転移出来るよう支援している。ご家族の希望に沿って代表と看護師で受診の支援をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じ主治医に他の専門医に紹介して頂き、受診を受ける様支援している。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員が日常の健康管理支援を行っている。また必要な事は指示の下健康には気を配っている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時には度々面会に行き、家族にも主治医に容態を聞いて頂き、状態の把握、情報収集、家族との連絡を密にし、早期に退院出来る様努めている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の方やかかりつけ医と相談しながら、本人にとって一番よいと思われる方法を話し合いで決めている。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々の症状を家族にお話しながら、かかりつけ医の支持の下、ホームで出来る事と出来ない事の見極めを家族にも知って頂き、常に連絡を密にし本人に不安を与えないような支援をしている。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人に状況をお話し、別の居所に移られても、ホームとの情報交換や度々の面会や訪問をしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1．その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーやプライドを損ねるような言葉使いには気をつけている。個人を尊重した対応を心がけている。		
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	思いや希望を我慢しないで何でも話し合える雰囲気作りを心がけている。		
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大事にし、レクリエーションもいろんな選択ができる様にしている。		
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容院や美容院を希望する人は送迎を行い、希望しない人はホーム長が定期的に散髪している。		
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を使用し、好みをメニューに取り入れ、盛り付けや味付け、食器洗い等を一緒に行っている。		
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好きな物が飲めるよう何種類か用意し、おやつも好みの物を聞き、スタッフは利用者の嚔下状態や体調を見ながら一緒に楽しんでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	各居室にトイレがあるので、排泄は各自のトイレに誘導する事を基本としている。一人ひとりの排泄チェック表を基に時間を決めて誘導している。また水分補給にも気を配っている。		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	週3回入浴して頂いているが、自立で一人で入浴が出来る人が少なく、見守り、一部介助、全介助が必要な為、一人ひとりの希望に沿った入浴が出来ていない。体力のない人は週2回の入浴にしている。	○	毎日入浴している人もいるが、希望の時間に自由に入浴してもらう事は出来ていない。
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	その人の状況により、寝不足気味や体力不足が感じられたら、休息して頂く様声掛けしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	歌の好きな人にはカラオケが出来る機会を作ったり、本の好きな人には週刊誌等を見て頂いたり、家事を行うのが好きな人にはお手伝いをして頂き、楽しく気晴らしが出来るように支援している。		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金を持っている人もいますが、ほとんどの人が管理することが難しい。買い物に出かけた時に支払いをお願いしているが理解できていないようです。		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	週に何回となくドライブに行ったり、暖かい日には外周散歩、買い物に出かけている。		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	入居者全員で遊園地、景勝地、ログハウス利用など家族の計らいで出かけている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に電話がしたい時はいつでも使用して頂いている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は決めておらず、いつでも気軽に訪問や外出出来るようにしている。訪問時には一緒に食事やおやつを食べたり、レクリエーションをして楽しんで頂いている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフは身体拘束の苦痛を理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関に鍵を掛けていない。	○	他の居室に入り、手当たりしだい持ち運ばれる利用者が居られるので、紛失物が多く利用者の物取られ症状が酷くなっているため、必要に応じ鍵をしている。徘徊の利用者が落ち着けるよう、しっかりと向き合っていきたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はほとんどの利用者がリビングで過ごされているし、職員も一緒に過ごしている。夜は2時間おきの見回りの他、必要に応じて見回りをし、わずかな物音にも配慮している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物は、目に触れない棚や収納箱等に入れて危険を防いでいる。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	機会あるごとに実践研修を行い、一人ひとりの状態を把握しながら取り組んでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師の指導の下、定期的に訓練を行っている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練をしている。近所の方や民生委員に緊急時の避難などの協力をお願いしている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族等にいつも身体、体力状態を知って頂いており、本人に良い方法を一緒に考えて頂きリスクを共有している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックをし、毎日の健康状態を把握している。また入浴時にもチェックをし、異常がある時には入浴を止め、変化を記録しながら状態を見極め早めに受診している。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録に処方箋をつけている。服薬時にスタッフが一人ひとりに名前を確認して貰い服用して頂いている。薬が変わった時には連絡帳に書き、特に症状の変化に気をつけるようにしている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表をつけている。歩行をして頂いたり、食事には野菜やきのこ類、海藻類等を取り入れ、水分補給にも気をつけている。排便が無い時には便秘薬を服用して排泄を促している。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取チェック表をつけ、一人ひとりの状態に合わせて食べる量や食材に気をつけ一日の摂取量を把握している。水分量も一日1300mlの摂取量を目標に支援している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防の研修会に参加したり、スタッフ共に予防接種をして対応している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、食器等は乾燥機を使用し、毎日まな板や布巾も消毒している。冷蔵庫は週一回掃除をし、食材の期限切れ等を確認をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 土 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに季節事の花を植え、玄関ホールには手作り作品を置いてホットな雰囲気作りをしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	吹き抜けの天井に天窗があり、廊下や居室にはガラス瓦を使って自然の光が入ってくる。リビングには色とりどりの観葉植物や花があり、心を和ませている。玄関にスロープと手すりをつけ車椅子の出入りにも配慮している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づ くり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ウッドデッキにベンチや椅子を置き、日光浴や歩行が出来る。居間には掘りごたつがあり思い思いの場所で過ごされている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの物や思い出の品、テレビ等を持参され、居心地よく過ごされている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	建物が木造土壁で出来ているのと各居室とトイレには24時間換気システムが作動しているので気になる臭いはしない。エヤコンの温度調節もこまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、共有トイレ、居室、居室トイレすべてに手すりをつけている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	押し付けでなく、一人ひとりのわかる力を引き出せる場面を作っている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ウッドデッキにベンチや椅子を置き、日光浴や歩行が出来る。駐車場はフェンスがありボール遊びをしている。		

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一人ひとりの自尊心やプライドを傷つけないようにし、触れ合いを大切にし、不安なく笑顔が出るようなケアを心掛け、時間を決めて居室トイレでの排泄を促し、いつでも清潔で快適に過ごして頂ける様心掛けている。